

病害虫発生予察情報

6 月月報

平成 24 年 7 月 19 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2012 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	24.8	-0.7	16.2	0.0	20.2	-0.3	36.5	122	42.8	81
中旬	24.6	-1.2	17.6	0.0	20.6	-0.7	114.5	189	27.5	69
下旬	25.5	-0.6	17.8	-1.0	21.3	-0.8	58.5	87	44.2	159
平均	25.0	-0.8	17.2	-0.3	20.7	-0.6				
合計							209.5	133	114.5	93

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・下旬は平年並、中旬は低かった。

降 水 量：上・下旬は平年並、中旬は多かった。

日照時間：上・中旬は少なく、下旬はかなり多かった。

上旬：前半は、1 日は寒気を伴った上空の気圧の谷が通過した影響で雷雨となったが、その他の日は高気圧に覆われおおむね晴れや曇りとなった。後半は、梅雨前線や日本の南海上を北東に進んだ台風第 3 号の影響で雨や曇りの日が多くなった。特に 9 日は前線を伴った低気圧が関東の南岸を通過したため、まとまった降水量を観測した。なお気象庁は、関東甲信地方は 6 月 9 日ごろに梅雨入りしたと見られるとの発表を行った。

中旬：19 日夕方から 20 日明け方にかけて和歌山県南部に上陸した後、東日本太平洋側を通過した台風第 4 号の影響で暴風雨になるなど、梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。14 日から 15 日にかけては高気圧に覆われて晴れた。

下旬：前半は、本州の南岸に停滞した梅雨前線や、前線上の低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、22 日は関東南部を東進した低気圧の影響で雨となった。後半は、梅雨前線が本州から南に離れ、北から高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

6 月 20 日頃までにおおむね田植えは終了した。苗の活着は良く、順調に経過している。

(2) 野菜類

果菜類：半促成トマトの生育はおおむね順調であった。露地の果菜類は、ナスでやや生育が遅れているものの、おおむね順調であった。しかし、6 月 19～20 日の台風 4 号の

影響により、キュウリ、ナス、ピーマンなどで傷果の発生、枝折れ、葉のちぎれ、かすれなどの被害が生じた。また、スイートコーンは多くの地域で倒伏し、数日後に起き上がったが、受粉期のステージのものは品質への影響が懸念される。エダマメ、インゲンはおおむね順調であった。

葉根菜類：コマツナはおおむね順調であった。キャベツは 1 週間程度生育が遅れており、アザミウマの発生が多い傾向であった。

いも類：ジャガイモ、サトイモの生育はおおむね順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

5 月下旬～ 6 月上旬にかけて気温・日照時間ともにほぼ平年並で推移し、安芸クイーン、高尾では平年並の開花始・盛であった。巨峰については、平年よりもやや遅めの開花始・盛であった（+ 2 ～ 3 日）。

巨峰：開花始 6 月 1 日（+ 3 日）、開花盛 6 月 3 日（+ 2 日）

安芸クイーン：開花始 5 月 30 日（± 0 日）、開花盛 6 月 2 日（± 0 日）

高尾：開花始 5 月 27 日（± 0 日）、開花盛 5 月 30 日（± 0 日）

(4) 茶樹

6 月の生育は、順調であった。2 番茶の摘採は、21～27 日が中心で、摘採量は平年並であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
シンクイムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯における誘殺数は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
---------	-------	-----------

チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
ナガチャコガネ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 一部多 >	一部地域で発生が多かった。
----	---------	---------------

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
疫病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病 (施設)	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

スイートコーン

アワヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
アワノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

株腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< 並 >

発生は平年並であった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

うどんこ病

< 並 >

発生は平年並であった。

チャドクガ

< やや多 >

発生はやや多かった。

プラタナスグンバイ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

トチノキヒメヨコバイ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

大 島：トウガラシで白絹病、ブバルディアで細菌性病害（葉・花弁）の発生が目立った。

新 島：アシタバでハダニ類、アオバハゴロモ及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でアオムシ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ及びアブラムシ類、ネギでさび病、ルスカスでカイガラムシ類、カキでマイマイガの発生が多かった。

神津島：アシタバでアブラムシ類、アブラナ科野菜でアオムシ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ及びアブラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月11日	7月5日	0	0
大田市場	6月11日	7月5日	0	0
板橋市場	6月11日	7月5日	0	0
淀橋市場	6月11日	7月5日	0	0
北足立青果市場	6月11日	7月5日	0	0
昭島市場	6月8日	7月3日	0	0
八王子北野市場	6月8日	7月3日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月8日	7月3日	0	0
国立市場	6月8日	7月3日	0	0
東久留米市場	6月8日	7月3日	0	0

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。

なお、テレフォンサービスは平成 24 年 3 月で終了しました。4 月以降、本サービスの情報については防除所のホームページに「今月の防除のポイント」として掲載しています。